

平成 20 年 11 月 10 日

各 位

会社名 株式会社 オ プ ト ロ ム  
代表者名 代表取締役社長 三浦 一博  
(コード番号:7824 名証セントレックス)  
問合せ先 常務取締役 須藤 恒夫  
(電話番号 022-392-3711)

## 台湾企業との CCFL 蛍光灯の共同開発・特許出願に関するお知らせ

当社は、環境エネルギー事業の一環として、台湾の Great Top Technology (廣拓科技股份有限公司) と共同で CCFL (冷陰極蛍光ランプ) を用いた次期照明器具の開発を進めており、この度、特許庁に CCFL 照明に関する特許を共同出願いたしました。(台湾では特許出願済み)

共同開発先の Great Top Technology (廣拓科技股份有限公司) は、台湾の上場会社でインバーター製造の SAC (華美電子股份有限公司) のオーナーである林 裕城氏が設立した研究開発型企業であります。当社は、この特許出願に基づき 2009 年春 (第 4 四半期中) に製品化および技術的検証を行い、来期早々の販売開始を予定しております。

### 1. CCFL 照明開発の目的

当社は、本年 7 月に株式会社グリーンテックを子会社化し、世界的に環境対策・Co2 削減が重要課題となる中、貴重な資源の有効活用、エネルギーの省力化、環境に優しいリサイクル可能製品の第一弾として長寿命節鉛バッテリー (蓄電池) を製造販売し、環境エネルギー事業を推進しております。

また、次に続く省エネルギー・Co2 削減製品として、台湾のインバーター専門の研究開発企業である Great Top Technology 社との間で蛍光灯に替わる照明器具の共同開発を進めているものです。

CCFL はパソコン等の LCD のバックライトとして広く普及しており、それを複数本使用することにより、蛍光灯と同等以上の明るさを確保し大幅な節電・Co2 削減可能な照明器具となります。

将来的には、ソーラーパネル (昼間の太陽エネルギーの蓄電)、節鉛蓄電池および CCFL 蛍光灯の組み合わせにより、電気料金・Co2 を飛躍的に削減する代替エネルギー製品の製造・販売を目指しております。

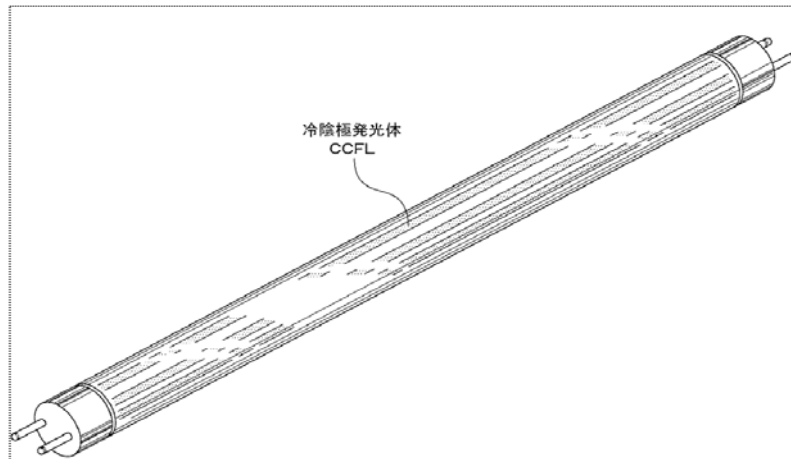
### 2. CCFL 照明の概要

CCFL (Cold Cathode Fluorescent Lamp=冷陰極蛍光ランプ) は蛍光灯を細くしたような発光管で、蛍光灯と同じ放電による蛍光発光体ですが、フィラメントを用いないため発熱が少なく、さらに高周波点灯でちらつきが少ないため、眼にやさしく省電力が可能な製品としてパソコン等の LCD パネルのバックライトなどに多く使用されています。

当社と Great Top Technology 社が共同開発した CCFL 照明の特徴は、蛍光灯に替わる照明器具の一つであり、同様に蛍光灯の代替品とされている LED 照明における様々な課題 (価格面、発光効率等) を解決した即実用化可能レベルの製品であります。

#### 【製品の特徴】

- ① 仕様：インバーターおよび複数の CCFL 管内蔵のプラスチック蛍光管（既存蛍光灯器具にそのまま装着が可能）
- ② 耐用年数：蛍光灯の 5 倍（50,000 時間保証、LED 照明とほぼ同等以上）
- ③ 発光効率：現行の蛍光灯と同等以上のレベル
- ④ 電気料金削減効果：LED とほぼ同等以上の電力・Co2 の削減が可能  
スイッチの ON/OFF：一般の蛍光灯は、ON/OFF の回数によって寿命が大きく減じるが、当社 CCFL 蛍光灯は、ON/OFF の回数に影響を受けない。
- ⑤ 価格面：LED 照明より大幅に安く、最上級インバーター方式蛍光管により近い価格を想定
- ⑥ 環境面：リサイクル可能
- ⑦ 調光機能：蛍光灯にない調光機能を設置可能
- ⑧ 紫外線防止：UV カット可能（虫防止）
- ⑨ 販売市場：国内外（90V～260V 対応、一つの規格で全世界をカバー）
- ⑩ 製品概念図：



#### 3. Great Top Technology（廣拓科技股份有限公司）の会社概要

- ① 商号：廣拓科技股份有限公司
- ② 所在地：中華民国 高雄縣燕巢鄉安林三街 21 号
- ③ 資本金：1,700 万台湾ドル（1 台湾ドル=3.01 円）
- ④ 代表者：林 裕城
- ⑤ 事業内容：電子機器の研究開発・製造・販売
- ⑥ URL：<http://www.greattop.com.tw/>  
関連会社SACのURL：<http://www.sac.com.tw/japanese/about.asp>

以上